



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月9日

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社
コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦勇 和也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 宮毛 忠相

TEL 03-3502-4910

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	798	—	△166	—	△185	—	△181	—
23年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△8.15	—
23年3月期第1四半期	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	4,917	3,334	67.2	148.93
23年3月期	5,297	3,686	68.9	161.47

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 3,306百万円 23年3月期 3,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	—	150	—	140	—	110	—	—
通期	4,700	△13.7	320	△68.2	300	△69.5	250	△16.6	11.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	22,615,056 株	23年3月期	22,615,056 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	412,686 株	23年3月期	15,973 株
----------	-----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	22,237,905 株	23年3月期1Q	225,994,392 株
----------	--------------	----------	---------------

(注)平成22年8月1日付で、10株を1株とする株式併合を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社は、平成23年3月期第3四半期まで連結会社であったため、平成23年3月期第1四半期の個別業績を開示しておりません。このため、当第1四半期の経営成績については、前年同期との比較を行っておりません。

当第1四半期の我が国経済は、本年3月に起こった東日本大震災の影響により、個人消費の縮小、雇用情勢の悪化及び設備投資の減少などがあり、全般に厳しい状況にありました。先行きにつきましては、生産活動の回復や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待されるものの、電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、円高の進行や雇用情勢の悪化懸念等の要因があり、景気が下振れするリスクが存在しております。

当社の主要な事業領域についてみると、国内の金融・不動産市場、ホテル・レジャー需要においては、一時的な落ち込みがあったものの、徐々に回復傾向がみられております。中国経済については、不動産価格や物価の動向に留意する必要があるものの、景気は内需を中心に引き続き拡大が続くと見込まれております。

このような経済状況のもとで、当第1四半期の当社は、新規投資案件の発掘や新たに出店した店舗の事業基盤確立などに注力してまいりました。また、新たな取り組みとして太陽光発電システム関連事業を検討を開始し、5月31日付でドイツの有力な太陽光発電システム提供企業である SINOSOL AG社との間で業務提携契約を締結いたしました。

業績につきましては、投資活動の停滞や各店舗の来客の落ち込みが避けられず、売上高798百万円となりました。営業利益及び経常利益については、企業投資及び不動産投資の回収活動が振るわず、また営業収入の落ち込みの影響により、営業損失166百万円、経常損失185百万円となりました。さらに、特別利益として新株予約権戻入益12百万円などがあり、四半期純損失181百万円となりました。

報告セグメントごとの業績は、次の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当社は、当事業部門におきまして、主に日本及び中国の企業及び不動産向けの投資事業、並びにアドバイザー事業を営んでおります。

当第1四半期は、目立った投資回収がなかったものの、新規投資案件・アドバイザー案件の進捗や、太陽光発電事業に関する調査活動など、将来の収益実現に向けた取り組みを行いました。

業績につきましては、不動産賃貸による収益11百万円、投資活動による収益10百万円などがありましたが、人件費ほか諸経費を補えず、売上高75百万円、セグメント利益0百万円となりました。

(オペレーション事業)

当社は、当事業部門におきまして、ビジネスホテル等の宿泊施設の運営、ボウリング場の運営、飲食事業及び公営施設の運営受託などを行っております。

当第1四半期は、平成23年4月に「大分アリストンホテル」(大分県大分市)、「国民宿舎 マリンテラスあしや」(福岡県遠賀郡)及び愛媛大学医学部付属病院の医療給食業務(愛媛県東温市)の3拠点の新規開業があり、当第1四半期はこれらの事業基盤の確立に向けた取り組みを行いました。既存店舗においては、4月、5月の収入が前年比で大きく落ち込み、建物に一部損壊がみられた店舗が一時休業するなど、震災による影響がみられました。

こうした要因により当事業部門の業績は低迷し、売上高723百万円、セグメント損失111百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、現金及び預金の減少367百万円、預け金の回収による減少166百万円等により前期末比513百万円減の4,917百万円となりました。なお、保有目的の変更により、販売用不動産71百万円を、流動資産から固定資産に振替えております。

負債は、未払費用の減少98百万円等により、前期末比26百万円減の1,583百万円となりました。

純資産は、剰余金配当90百万円及び四半期純損失181百万円に伴う利益剰余金の減少271百万円、自己株取得に伴う自己株式の減少59百万円等により、前期末比379百万円減の3,334百万円となり、自己資本比率は67.2%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日付当社「平成23年3月期 決算短信」において公表した業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項ありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,070,860	1,703,316
売掛金	54,760	85,879
営業投資有価証券	624,855	630,893
商品及び製品	3,494	5,034
原材料及び貯蔵品	22,952	34,098
預け金	377,344	210,453
その他	133,947	106,263
貸倒引当金	△541	△1,287
流動資産合計	3,287,671	2,774,652
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	708,320	726,159
構築物（純額）	19,301	19,020
土地	852,985	908,942
その他（純額）	173,400	225,786
減損損失累計額	△255,064	△255,064
有形固定資産合計	1,498,942	1,624,843
無形固定資産		
その他	2,978	11,142
無形固定資産合計	2,978	11,142
投資その他の資産		
関係会社株式	70,714	71,304
敷金及び保証金	268,534	268,776
その他	171,786	170,360
貸倒引当金	△3,545	△3,380
投資その他の資産合計	507,490	507,061
固定資産合計	2,009,411	2,143,048
資産合計	5,297,082	4,917,700

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31 日)	当第 1 四半期会計期間 (平成23年 6 月30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,195	117,227
1年内返済予定の長期借入金	15,600	14,300
未払費用	301,009	202,910
未払法人税等	9,433	9,710
その他	255,569	310,382
流動負債合計	683,806	654,531
固定負債		
長期借入金	99,800	97,200
社債	600,000	600,000
長期預り敷金保証金	200,909	203,589
その他	25,788	28,126
固定負債合計	926,497	928,915
負債合計	1,610,303	1,583,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,765,732	2,765,732
資本剰余金	20,849	20,849
利益剰余金	1,024,719	753,122
自己株式	△23,242	△83,233
株主資本合計	3,788,059	3,456,471
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△138,920	△149,887
評価・換算差額等合計	△138,920	△149,887
新株予約権	37,639	27,670
純資産合計	3,686,779	3,334,253
負債純資産合計	5,297,082	4,917,700

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	798,676
売上原価	316,361
売上総利益	482,314
販売費及び一般管理費	649,115
営業損失(△)	△166,800
営業外収益	
受取利息	585
未払配当金除斥益	234
その他	1,249
営業外収益合計	2,069
営業外費用	
支払利息	654
社債利息	3,627
為替差損	15,772
その他	917
営業外費用合計	20,973
経常損失(△)	△185,704
特別利益	
新株予約権戻入益	12,823
その他	505
特別利益合計	13,329
特別損失	
事業整理損	1,082
特別損失合計	1,082
税引前四半期純損失(△)	△173,458
法人税、住民税及び事業税	7,690
法人税等調整額	52
法人税等合計	7,742
四半期純損失(△)	△181,200

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (注) 1.	四半期損益計算 書計上額 (注) 2.
	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業			
売上高及び営業損益					
外部顧客への売上高	75,055	723,621	798,676	—	798,676
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	75,055	723,621	798,676	—	798,676
セグメント利益	64	△111,227	△111,162	△55,638	△166,800

(注) 1. セグメント利益の調整額△55,638千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。